

中学校技術・家庭科（家庭）採点基準

4枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点		
1	(1) ウ		各 2 × 3		
	(2) イ				
	(3) ア				
	2	名称 大泉門		3	
		記号 ウ		3	
	3	乳児の胃は、成人と比べて縦型で、胃の入り口の筋肉が弱い。そのため飲み込んだ空気と一緒に、乳汁を吐きやすいため。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	4	
	4	(1) 厚紙に割箸状の棒をつけ、厚紙の表裏に登場人物などの絵を描き、物語にあわせて棒を操る人形劇。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各 4 × 2	
		(2) 毛羽立ちのよい布のパネルに、付着力のよい不織布を切り抜いて作った人形などを貼ったり、動かしたりしてお話を展開させていくもの。			
	5	(1)	(a) 幸福		各 2 × 5
			(b) 公共の福祉		
			(c) 健康		
			(d) 文化的		
			(e) 社会福祉		
		(2)	全ての人を孤独や孤立、排除や摩擦から援護し、健康で文化的な生活が実現できるよう、社会の構成員として包み支え合うという理念。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	4
(3)		(a) 65		各 2 × 4	
		(b) 40			
		(c) 医療保険			
		(d) 疾病			特定疾病 もよい。

46

中学校技術・家庭科（家庭）採点基準

4枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点	
2	1	(1)	体に対して頭の割合が大きいという特徴があり、これらの被服は、首元が大きく開く構造をしており、着脱しやすくなっているため。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	3	
		(2)	液温は40℃を限度とし、洗濯機で弱い洗濯ができる。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	3	
	2	記号	(ウ)	記号と自然環境上の問題がともに合っているものだけを正答とする。自然環境上の問題は、1つ書かれていればよい。自然環境上の問題は、内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	8	
		自然環境上の問題	<ul style="list-style-type: none"> 主に石油を原料に製造されるため、製造や廃棄の際に燃焼する過程で多くの二酸化炭素が発生する。 廃棄の際に埋め立てたり、自然環境に排出されてしまったりした場合、長期間分解されない。 			
	3	(1)	通気性			2
		(2)	繊維名	<ul style="list-style-type: none"> 絹 毛 		各2×2
			手入れ	<ul style="list-style-type: none"> 中性洗剤で洗う。 陰干しする。 防虫剤を使用する。 	2つ書かれていればよい。内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各2×2
		(3)	微細孔の直径が、雨滴の直径より小さく、水蒸気の直径より大きいため、体から出る水蒸気を衣服内部から外へ発散させ、雨滴を衣服内部へ通さない布。		内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	2
		(4)	(ウ)			3
	4	(1)	手縫いで縫ってあり、縫いしろは縫い込んでいるため、ほどくともとの長方形の布にもどるため。		内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	3
		(2)	おはしより			3
	5	著作権保護の観点により、掲載いたしません。		次の条件を全て満たしていれば、型紙の位置は異なってもよい。 <ul style="list-style-type: none"> 型紙の形状が適切である。 布目に合わせて型紙を配置している。 	15	
6	(1)	A	(イ)		各2×5	
		B	(ウ)			
		C	(エ)			
		D	(オ)			
		E	(ア)			
	(2)	①	(ア), (ウ)	順序は問わない。	各2×2	

130

中学校技術・家庭科（家庭）採点基準

4枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点													
6	(2)	② ・消化管を刺激し、その動きを活発にする。 ・便容積を増大し、かたさを正常化する。 ・便量を増すことにより、消化管通過時間を短縮させる。 ・満腹感を与え、エネルギーの過剰摂取を防ぐ。 ・胆汁酸を吸着し排出することで、血中コレステロールの上昇を抑制する。 ・腸内の有害物質を吸着させ、糞便中に排出する。 ・血糖値の低下作用。	順序は問わない。 3つ書かれていればよい。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各2×3													
					7	(1)	① 野菜などを冷凍する前に、加熱処理してすぐ凍結させる調理法。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各3×3								
							② アミノ酸と還元糖を加熱させたとき褐色物質を生成する反応。										
							③ 米飯を熱いうちに急速に乾燥して水分を除いたもの。										
(2)	小豆に含まれるタンニンやカリウムなどの無機等水溶性成分を除き、雑味のない淡白な味にするため。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	3														
2	8	(2)	生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進	順序は問わない。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各2×3												
			持続可能な食を支える食育の推進 「新たな日常」やデジタル化に対応した食育の推進														
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>学習活動</th> <th>指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 中学生の1日分の献立例を基に中学生に必要な栄養について、朝食と夕食の内容から課題を見付ける。</td> <td>○ 既習事項やこれまでの経験を基に考えるよう助言する。</td> </tr> <tr> <td>2 昼食として必要な食品の種類と概量を、6つの食品群や食品群別摂取量のめやすを参考に検討する。</td> <td>○ 食品群別摂取量のめやすを調べる際には本やデジタル機器を積極的に活用させる。</td> </tr> <tr> <td>3 グループになり、2で検討したことを基にして、こいわしを使った栄養バランスのよい昼食について考える。</td> <td>○ こいわしの栄養素を踏まえた上で、1食分として栄養バランスが満たされる昼食となるよう考えさせる。</td> </tr> <tr> <td>4 3で得られた視点を生かして、調理実習で自らが作るこいわしを使った一品を魚の調理上の性質等も踏まえて考え、決定する。</td> <td>○ こいわしには、煮くずれしやすい、鮮度が落ちやすい等の調理上の性質があることに気付かせる。</td> </tr> <tr> <td>5 本時を振り返り食品の選択や調理の仕方について気付きをまとめる。</td> <td>○ 本時の気付きを今後の学びにどのように生かすかも意識してまとめさせる。</td> </tr> </tbody> </table>	学習活動	指導上の留意点	1 中学生の1日分の献立例を基に中学生に必要な栄養について、朝食と夕食の内容から課題を見付ける。	○ 既習事項やこれまでの経験を基に考えるよう助言する。	2 昼食として必要な食品の種類と概量を、6つの食品群や食品群別摂取量のめやすを参考に検討する。	○ 食品群別摂取量のめやすを調べる際には本やデジタル機器を積極的に活用させる。	3 グループになり、2で検討したことを基にして、こいわしを使った栄養バランスのよい昼食について考える。	○ こいわしの栄養素を踏まえた上で、1食分として栄養バランスが満たされる昼食となるよう考えさせる。	4 3で得られた視点を生かして、調理実習で自らが作るこいわしを使った一品を魚の調理上の性質等も踏まえて考え、決定する。	○ こいわしには、煮くずれしやすい、鮮度が落ちやすい等の調理上の性質があることに気付かせる。	5 本時を振り返り食品の選択や調理の仕方について気付きをまとめる。	○ 本時の気付きを今後の学びにどのように生かすかも意識してまとめさせる。	問いを正しく捉えていれば、内容は異なってもよい。	16
学習活動	指導上の留意点																
1 中学生の1日分の献立例を基に中学生に必要な栄養について、朝食と夕食の内容から課題を見付ける。	○ 既習事項やこれまでの経験を基に考えるよう助言する。																
2 昼食として必要な食品の種類と概量を、6つの食品群や食品群別摂取量のめやすを参考に検討する。	○ 食品群別摂取量のめやすを調べる際には本やデジタル機器を積極的に活用させる。																
3 グループになり、2で検討したことを基にして、こいわしを使った栄養バランスのよい昼食について考える。	○ こいわしの栄養素を踏まえた上で、1食分として栄養バランスが満たされる昼食となるよう考えさせる。																
4 3で得られた視点を生かして、調理実習で自らが作るこいわしを使った一品を魚の調理上の性質等も踏まえて考え、決定する。	○ こいわしには、煮くずれしやすい、鮮度が落ちやすい等の調理上の性質があることに気付かせる。																
5 本時を振り返り食品の選択や調理の仕方について気付きをまとめる。	○ 本時の気付きを今後の学びにどのように生かすかも意識してまとめさせる。																

中学校技術・家庭科（家庭）採点基準

4枚のうち4

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点	
2	9	図A	記号	ウ		2
			平面表示記号	著作権保護の観点により、掲載いたしません。		4
		図B	記号	ア		2
			平面表示記号	著作権保護の観点により、掲載いたしません。		4
		図C	記号	イ		2
			平面表示記号	著作権保護の観点により、掲載いたしません。		4
	10	(2)	ア			2
			音環境に関すること		順序は問わない。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各 2 × 3
			高齢者等への配慮に関すること			
	防犯に関すること					
3	1	(1)	電話・郵便などで消費者を店舗や事業所などに呼び出して商品を売りつける商法。		内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各 2 × 2
		(2)	契約を結んでいないのに商品を勝手に送ってきて、返品または購入しない旨の意思を示さない限り、購入したものとしてその商品の代金を請求してくる商法。			
	2	記号	(イ)		順序は問わない。 記号と正しい文がともに合っているものだけを正答とする。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各 4 × 2
		正しい文	元金均等返済方式は元利均等返済方式よりも元金部分の返済ペースが早く、返済総額を抑えることができる。			
		記号	(ウ)			
		正しい文	クレジットカードでの分割払いで3回と12回とを比べると、3回払いの方が12回払いより、毎回の返済額は大きいですが、返済総額が小さい。			
4	1	(a)	系統的		各 3 × 2	12
		(b)	持続可能な開発			
	2	(a)	計画的		各 3 × 2	
		(b)	消費者被害			